

平成30年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名	大和市障害福祉センター 松風園
指定管理者	社会福祉法人大和しらかし会 理事長 春日 恵美子
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

(ア) 指定管理事業の実施状況

	児童発達支援センター 第1松風園に関する業務	知的障害者生活介護型施設 第2松風園に関する業務
事業実施日数	237日	265日
在籍児者	43人	59人
延利用人数	7,617人	12,763人

(イ) 自主事業の実施

日中一時支援事業（障がい児者の預かり事業）や、地域住民を対象とした公開講座などの自主事業が実施されました。

【参考：日中一時支援事業】

	障がい児日帰り対応型	障がい者日帰り対応型
延べ利用人数	1,751回	1,420回
利用者数	57人	35人

(ウ) 施設管理

毎日実施	施設内清掃
定期実施	年12回：自家用電気工作物巡視点検、エレベーター・昇降機保守点検 年4回：自動ドア点検 年4回：害虫駆除 年2回：空調機整備・点検・冷暖房切替、エアハンドリングユニットフィルター清掃、木部床面清掃、長尺シート清掃、カーペット・絨毯清掃、ガラス清掃、調理室レンジフード清掃、グリストラップ清掃、消防設備点検、非常用放送設備点検 年1回：電気設備精密点検、高架水槽等清掃、ガスレンジバーナー清掃
不定期実施	年2回：樹木消毒・剪定

2. 収支決算概要

(単位：円)

＜経常活動による収支＞

		第 1 松風園	第 2 松風園	本部	計
収 入	指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	45,000,000	16,000,000	1,000,000	62,000,000
	介護給付費・児童施設給付費 (法令等に基づき国等が指定管理者に支払った給付費)	107,550,164	171,993,974	0	279,544,138
	利用者負担金 (法令等に基づき利用者が指定管理者に支払った負担金)	2,185,359	0	0	2,185,359
	補助金収入	0	0	500,000	500,000
	その他の事業収入	0	0	0	0
	特定費用	1,671,850	2,911,340	0	4,583,190
	保険等査定減	0	-5,931,274	0	-5,931,274
	その他 (寄付金・雑収入等)	2,707,479	4,054,160	433,500	7,195,139
	計	159,114,852	189,028,200	1,933,500	350,076,552
支 出	人件費 (指定管理者が雇用した職員の給料・諸手当・法定福利費・役員報酬など)	114,636,566	145,488,541	1,037,120	261,162,227
	事務費 (指定管理者が支払った施設管理などの委託費など)	21,792,931	14,096,801	3,114,814	39,004,546
	事業費 (指定管理者が支払った給食費や水道光熱費、送迎の委託費など)	8,257,026	16,910,013	146,009	25,313,048
	その他支出 (利用者等外給食費支出)	2,210,349	3,325,317	0	5,535,666
	計	146,896,872	179,820,672	4,297,943	331,015,487
収支差額		12,217,980	9,207,528	-2,364,443	19,061,065

＜施設整備等による収支＞

		第 1 松風園	第 2 松風園	本部	計
収 入	施設整備等収入	0	0	0	0
	計	0	0	0	0
支 出	固定資産取得支出	83,700	83,700	0	167,400
	計	83,700	83,700	0	167,400
収支決算		-83,700	-83,700	0	-167,400

＜その他の活動による収支＞

		第 1 松風園	第 2 松風園	本部	計
収 入	積立資産取崩収入(退職給付引当資産取崩収入)	101,840	268,990	0	370,830
	サービス区分間繰入金収入	0	0	2,900,000	2,900,000
	計	101,840	268,990	2,900,000	3,270,830
支 出	積立資産支出	1,522,150	2,126,050	0	3,648,200
	サービス区分間繰入金支出	2,200,000	1,000,000	0	3,200,000
	その他の活動による支出	0	0	0	0
	計	3,722,150	3,126,050	0	6,848,200
収支決算		-3,620,310	-2,857,060	2,900,000	-3,577,370

	第 1 松風園	第 2 松風園	本部	計
収支差額合計	8,513,970	6,266,768	535,557	15,316,295

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和元年7月29日に福祉行政にかかわる指定管理者評価委員会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
【第1 松風園事業】 - 臨床発達心理士や理学療法士、作業療法士、看護師などの専門職員を配置し、利用者の特性に合わせて細やかな支援を行うことにより様々な障がいに対応できる体制を整えることで、平等な利用の確保に努めていることは評価できます。 - 家庭生活や卒園後の生活に向けた支援、交流保育、地域団体等との協働行事など幅広い支援を行っている点は評価できます。 - 個別面談、クラス懇談会などを通じて保護者から意見聴取を行い、サービス向上に努めています。 - 従前からの週5日利用に加え、週2から3日利用のグループも設定して保育所や幼稚園併用の希望にも応じるなど、利用ニーズへの対応、延べ利用児数や利用率の向上に努めている点は評価できます。 【第2 松風園事業】 - 専門職員を配置し、利用者の特性に合わせて細やかな支援を行うことにより様々な障がいに対応できる体制を整えることで、平等な利用の確保に努めていることは評価できます。 - 授産作業や清掃作業を通じて社会参加の機会を提供し、工賃を支給することで報酬を得る喜びを感じてもらえるようにしていることは、利用者のサービス向上につながっていると評価します。 - 送迎事業を実施し、重度障がいの利用者や送迎手段がない利用者も平等に施設を利用できるよう努めています。 - 利用者が思い出深い社会経験をするために、それぞれの特性、興味、希望を理解したうえで、日帰り旅行を実施している点は評価できます。 - オンブズパーソンとの月1回の面談や、家族会、個別面談を通じて利用者や保護者から意見聴取を行い、サービス向上に努めています。 【独自事業】 - 保育所等訪問支援事業や障害児相談支援事業を行い、児童発達支援センターとしての専門的機能を生かした効果的な事業実施に努めています。 - 保育所等訪問支援事業では、保育所・幼稚園・小学校など幅広く訪問を実施し、専門的支援を行っている点は評価できます。小学生の利用者が増えたことにより児童クラブへの訪問も実施しています。 - 職員の資質向上のため、定期的な研修会の実施や外部研修へ職員を派遣しています。人権について学ぶことにより、人権擁護に対する意識を高め、個々の状況に応じた利用者へのサービス提供に生かされています。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
【第1 松風園事業】 - 近隣保育園との交流保育、保護者やきょうだい児が参加可能な行事を通して、地域の中で生活していく経験を積み、将来を見据えた支援を行っている点は評価できます。 【第2 松風園事業】 - 介護者の高齢化を見据え、親亡き後も利用者が自立した生活を行えること等を目的として、横浜あゆみ荘や川崎市青少年の家で宿泊体験事業を行っていることは評価できます。 - 民生委員児童委員協議会や特別養護老人ホームとの交流によって地域交流を積極的に行い、障がい者への理解を深める活動を行っていることは評価できます。 - ボランティアによるコンサートや、ダンスによって体を動かす場を設けるなど、利用者を様々な面から支援していることは評価できます。

【独自事業】

- ・ 地域の拠点としての役割を担うため、地域住民や保護者を対象とした地域生活支援公開講座や自閉症療育講座などを法人事業として実施している点は評価できます。
- ・ 年1回松風園まつりを開催し、家族会、地域住民、障がい児ダンスグループ、中学校吹奏楽部、地域福祉団体のネットワークの場として、また、地域交流の場として根付いていることを評価します。
- ・ 施設の空きスペースを利用し、利用者や家族の状況に合わせた日中一時支援事業を実施しています。
- ・ 保育所等訪問支援事業では、複数の心理士を配置し高い専門性を持った支援を行っています。また、障害児相談支援事業では、増加の続くニーズに対応すべく相談支援専門員を配置していることに加え、要医療児者支援等の体制加算の対象になるといった高い専門性を持った支援を行っています。いずれも国の報酬体系が事業実施の困難性の高い状況にある中、積極的かつ充実した内容で事業を実施している点は特に評価できます。

評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか**【施設の維持及び管理】**

- ・ 『公共建築物「管理マニュアル」』に基づく定期点検や補修及び改修を実施しており、適切な施設の維持管理が行われています。
- ・ 「大和市環境マネジメントシステム」に基づき、環境に配慮した施設運営が行われています。

【防災の取り組み】

- ・ 避難訓練（火災や地震を想定）を定期的に行っています。
- ・ 利用児者と職員分190名、3日分の防災食及び防災用品を備えているほか、大規模災害に備えて衛星電話を設置しています。
- ・ 大和市障害者施設災害対策連絡会を発足して市内法人と災害対策に対する情報共有や意見交換を行う連絡会を主宰し、災害対策について具体的に検討を行っている点は評価できます。

評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

- ・ 関係団体の主催する研修会や他施設への見学・体験実習など外部研修に積極的に職員を派遣し、職員の資質向上に努めています。また、研修内容は職員会議で報告し、情報の共有化を図っています。
- ・ 事業収支は、報酬改定による単価の変動等により、平成29年度と比較して収入増となりました。支出面では、人材確保を目的とした給与の見直しによる人件費の増加や、食材費、光熱水費の増加はありますが、安定した財務状況と判断しています。